

家庭での読書を応援します！

幼い時も小学校に入ってから、子供は身近な大人に遊んでもらうのが大好き。トランプやカルタなど、素朴なゲームにも夢中になります。

でも、遊ぶのはちょっと苦手という保護者の方には、読み聞かせがおすすめです。絵本だけでなく、昔話集や物語など絵がない本でも子供は喜んで聞きます。絵がない分、自由にお話を心に描いて楽しみ、時には大人が驚くほど深く聞いている場合もあります。

また、一人ひとりが好きな本を静かに読むのも良いものです。テレビを消して、家族みんなで読書の時間を共有できると効果的です。

それぞれの家庭で、本を通して驚きや発見、喜びを子供たちとわかちあってください。



絵本をはさんで、親子で笑顔

『ほん・本・ごほん』で、子供と一緒に読みたい本を探そう！



小学生が楽しめる絵本、物語、知識の本、432冊をテーマごとに紹介しています。

家庭での読書で使うときは

1 テーマを選ぶ

もくじて、興味があるテーマを選びます。ぞう、魔女、おばけ、ほし、なぞなぞ、いたずら、おどりなど3冊合計で72個のテーマがあります。

2 本を選ぶ

テーマごとのページで、あらすじや表紙を見て、読みたい本を選びます。

3 本を借りる

近くの図書館で、選んだ本を借ります。

都立図書館「子供の読書に関わる方のページ」で見られます
<http://www.library.metro.tokyo.jp/tabid/439/Default.aspx>

『ほん・本・ごほん』の内容紹介

6冊の本がやさしい順に並んでいます。およその目安です。

小学生ならだれてもたのしめます。

3年生くらいからたのしめます。

5年生くらいからたのしめます。

あらすじを読んで、子供が「おもしろそう！」と思うのはこの本でしょう。

テーマ

物語

昔話

絵本

知識の本

とくぎ

56 誰かさんにやりたい事

57 王子様と九人のきょうだい

58 エルシー・ビドック、夢でなつとびをする

59 みどりのゆび

60 ぼくは恐竜造形家

都立多摩図書館では、児童青少年向けの図書19万8千冊、雑誌900タイトルを所蔵し、乳幼児から高校生までの読書に関するサービスを行っています。子供の本や読書に関する御質問がありましたら、お気軽に御相談ください。

都立多摩図書館 児童青少年資料係 電話 042-524-6428(直通)